



# 総合コンサルティング事業室発足

## 1. はじめに

当センターは1967年に発足以来今年で50周年を迎えます。主に国内の試験水槽を有していない造船会社、海運会社からの要請を受けて水槽試験を実施することを主要業務としてやってきましたが、お蔭様で現在国内水槽試験の大多数の試験を受け持つに至り、所掌部門の試験センターに加え、海洋技術部、海外協力室、技術開発部に研修・技術支援室の体制で広範囲に亘って造船・海運業界のお手伝いをしています。

今般、海事産業の一層の発展に寄与したいという思いから当センター内に総合コンサルティング事業室を設置し(平成29年4月1日)、手始めとして下記3に示しますような事業を実施することにいたしました。

## 2. 事業室発足の背景、趣旨

我が国造船業は、国際的には競争の激化、EEDIをはじめとする規制強化への対応等を迫られている一方で、建造船種の特化、新規開発力の減退、団塊世代の退職に伴う後継者不足等の課題を抱えていることから、現有技術の維持発展、基幹設計要員の確保、高度な基本計画力の維持、新たな技術課題への対応力の維持等を図る必要があると考えております。

造船事業者はかかる課題に対して、社内に要員を抱えたり、個別に下請け事業者に外注したりして対応してきていますが、さらなる国際競争力の強化を図るためには、各事業者がこれらの業務を総合的にアウトソーシングすることができる共通の受け皿となる造船業の総合コンサルタントの存在が望ましいと考えました。

既に海外では、欧州を拠点とする造船業の総合コンサルタントが存在し、国際的に目覚ましい活躍をしていますが、我が国においては各専門分野に特化した小規模なコンサルタントは存在するものの、分野を横断する総合的なコンサルティングを実施することができる受け皿は確立していないのが現状です。

このため、造船の分野において豊富な知見を蓄積するとともに、経営的に中立的であり各事業者が有する秘密情報の適切な取り扱いに実績を有している当センターが、この役割を果たせるのではないかと考え、船舶の船型開発、性能の検証と改善、基準適合性の確認、技術支援、技能伝承等に係る総合的なコンサルティング業務を新たに実施することと致しました。

## 3. 今すぐお役にたてること

今後は海事関係の皆様方でご相談なされたいことがあれば全て応じて参りたいと考えておりますが、当センターが現時点で対応可能なことの例をご参考までに下記に示しておきます。

- 1) 船舶関係各種模型試験の実施(含模型船、プロペラ製作)
- 2) 新船型の開発、推進性能改善/省エネ船型の開発
- 3) CFD等検証ツールによる最適船型の検証/改善
- 4) 不具合事項に対してお相談、改善アドバイス
- 5) 関連各種技術計算(船型計画、基本計画関連計算)
- 6) 建造用図面審査、建造中検査業務の支援、工程監理

- 7) ニーズに応じたFSの実施、新規企画の立案、提案
- 8) 船舶の基本計画、仕様書の作成 引合発注業務、建造監理
- 9) 船舶の保守に関する受託調査
- 10) 海洋案件に対する同様の計画、実験、機器の開発
- 11) 船舶に関する経済・技術協力プロジェクトのコンサル
- 12) 各種情報データベースの提供、各種調査研究、受託調査
- 13) 研修、講義、講演、招聘、派遣業務、その他

## 4. おわりに

事業の実施につきましては、(株)ClassNKコンサルティングサービス殿と協同して進めていくこととしておりますが、必要に応じて他の団体、研究所等ともコラボレーションを図り、お役にたてる範囲、内容を少しずつ広げていきたいと考えております。

造船事業が盛んな中国、韓国と比べても我が国の専門技術者は多数の造船事業者の中に分散し、その総数も大きく見劣りがするものになっています。この厳しい環境の中で、次々に離職される団塊の世代に始まるベテラン技術者の力を次の世代に伝え造船業の下支えにすべく、心ある方々の人材バンクとしての役割も果たしていければいいなと考えております。

(常務理事 兼総合コンサルティング事業室長 鷲尾祐秀)

